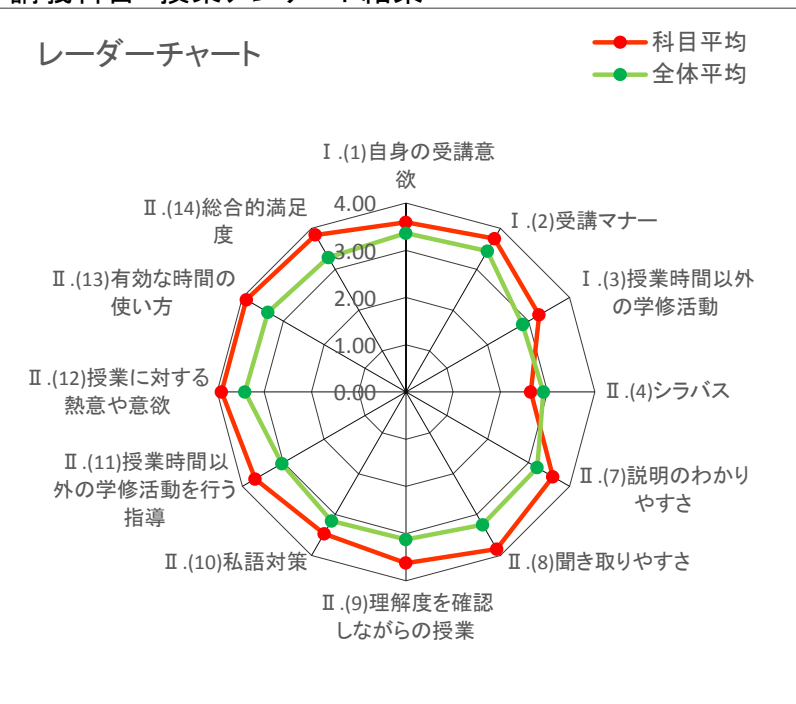
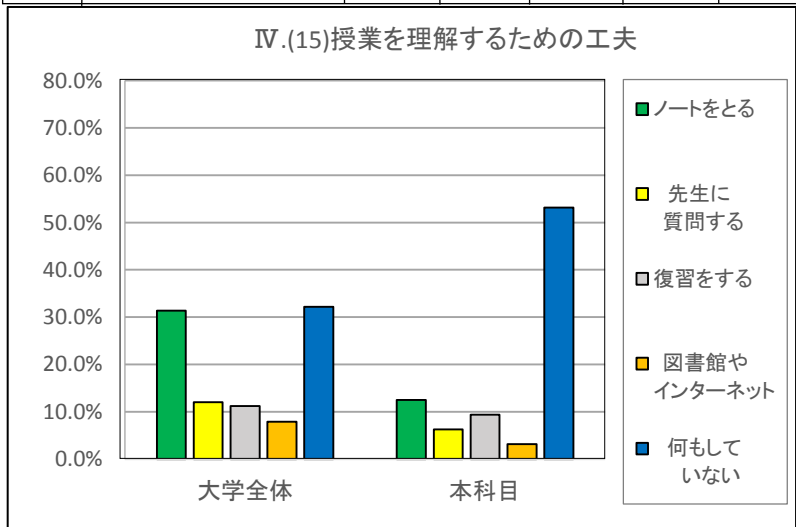


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	12.5%	6.3%	9.4%	3.1%	53.1%



	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.59	3.36
	I.(2)	3.75	3.45
	I.(3)	3.26	2.86
受講内容・方法	II.(4)	2.65	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.59	3.21
	II.(8)	3.84	3.25
	II.(9)	3.63	3.13
	II.(10)	3.47	3.16
	II.(11)	3.69	3.04
	II.(12)	3.91	3.41
	II.(13)	3.91	3.37
満足度	II.(14)	3.84	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.53	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.58	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.84	3.29
III.(14)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	44103/44306
科目名	教職入門B(中等)/教職概論
教員名	

①授業計画の達成度について  
 学生諸君の記述内容を見ていると、授業計画においてねらっていたことは達成できている学生が多く、そのレベルは教職入門Aを上回るものである。達成できたものは、教師に求められる資質・能力に対する理解と、それに対する自身のあり方を自己内対話し、大学での学びに対して意欲的な姿勢である。

②授業の進め方について  
 ①の成果を生みだせたのは、授業の進め方が効果的であったこと、本年度から教職入門Aとは別にB専用のテキストを指定したことにある。B受講生は、A受講により思考の足がかりをもつことができ、AとBの両方において自己内対話ができるために、より深い思考を展開できる相乗効果が生まれている。学生の積極性が多く見られたが、それはAの110名に対してBは人数が少ない授業であったことも大きい。しかし、一番大きいのはBを受講した学生諸君の意欲的な姿勢である。学生諸君に拍手を送りたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 本年度の学生諸君の声を生かして、来年度も本年度の授業展開を踏襲し、学生自身の本音の声を発表することを本年度以上に明確に求め、新たな成果を生み出すつもりである。